

よこはま動物園ズーラシア

コウノトリを移動（2羽来園・1羽出園）します

令和7年11月7日（金）に、多摩動物公園（東京都）からコウノトリ2羽が来園し、多摩動物公園へ1羽が出園します。今回の移動は、(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会のニホンコウノトリ管理計画に沿って行われます。

コウノトリはかつて日本国内で多く見られていましたが、乱獲や環境の変化により昭和46年に野生では絶滅しました。一方で飼育下では繁殖に成功し、全国の動物園・保全施設等が協力して、繁殖や野生復帰に向けて取り組んでいます。

当園では、今後もコウノトリの繁殖・保全活動を継続するとともに、環境教育を通じた普及啓発に取り組んでまいります。

【今回来園する個体】



▲オス



▲メス

写真提供：(公財)東京動物園協会

【今回出園する個体】



▲オス（愛称：多摩三郎）

当日の取材について

動物の搬出入当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 045-959-1298

【参考資料】

■ 個体情報

- ・ 今回来園する個体

オス	平成 14 年 3 月 16 日	多摩動物公園生まれ
メス	平成 15 年 3 月 21 日	多摩動物公園生まれ

- ・ 今回出園する個体

オス（愛称：多摩三郎）	平成 19 年 4 月 27 日	多摩動物公園生まれ
-------------	------------------	-----------

■ コウノトリについて

和 名	コウノトリ
英 名	Oriental Stork
学 名	<i>Ciconia boyciana</i>
分 類	コウノトリ目 コウノトリ科
分 布	アムール川流域、中国南東部
生 態	コウノトリは、両翼を広げると2メートルを超える大型の鳥で、湿地や河川などを好んで生息します。餌は魚や両生類、昆虫などの小動物が中心です。巢はアカマツなどの大木の上に枝を組んで作り、その大きさは直径約2メートルにもなります。
保 全 状 況	かつては日本各地に広く分布していましたが、明治期以降の乱獲や餌資源の減少、営巣に適した樹木の伐採などにより個体数が激減しました。昭和31年には文化財保護法に基づき、国の特別天然記念物に指定され、保護政策が取られましたが、減少は止まらず、昭和46年に野生では絶滅しました。 一方、飼育下では繁殖に成功し、平成17年にはコウノトリの郷公園（兵庫県）が野外への放鳥を開始し、野生復帰が実現しました。平成19年には放鳥個体が野外で自然繁殖するようになり、その後も放鳥と野外での自然繁殖が続いています。現在（令和7年6月末時点）では、500羽を超えるコウノトリが野外で確認されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅰ：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧ⅠB類（EN） ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育羽数	4羽（オス2羽、メス2羽）※今回の出園および来園後の羽数
国内飼育羽数	19施設184羽（オス91羽、メス92羽、不明1羽） ※令和6年12月31日時点（傷病救護一時収容のみの2園館含む）

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円

- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

- ◆休 園 日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1

- ◆交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 18 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間

- ◆U R L：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

- ◆住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1

- ◆問合せ先：045-959-1000